



議会だより

秩父バイオマス発電所



9月定例会 “一般会計補正予算7300万円追加”	2ページ
第4回臨時会 “木質バイオマス発電所建設始動”	4ページ
一般質問 6名登壇	5ページ
先進地視察研修報告	11ページ
村民の声 「新規就農者のユリ栽培… “シベリア” にドブプリ」	12ページ

一般会計補正予算 既定の歳入歳出に **7300万円追加**

総額 45億8770万円

歳入

地方交付税、国庫補助金の確定等により
7300万円増額。

歳出

総務費

●新エネルギー推進事業費に600万円増額。

●(株)パワープラント関川が、旧美穂農場跡地に建設予定の木質バイオマス発電所建設に向けた、測量調査費と土場造成工事費と、今後期待されるメガソーラー発電所の測量調査費です。

●戸籍電算化業務委託料に1670万円増額。

年度割りの見直しによるものです。

民生費

●介護基盤緊急整備臨時特例補助金に416万円増額。

●ハーティプラザ関川へのスプリングラーの設置料です。100%県の補助。



ハーティプラザ関川

土木費

●道路橋りょう維持費に600万円増額。

●八千代打上線(辰田新)舗装工事、七ヶ谷郷51号線(鮎谷)側溝新設、女川郷40号線(小和田)側溝布設替、九ヶ谷郷85号線(下川口)側溝布設替になります。

農林水産業費

●国土調査事業の地籍測量委託料に212万円増額。

●農村漁村活性化プロジェクト支援推進交付金に314万円増額。

対象は女川地区です。

衛生費

●合併処理浄化槽設置補助金に430万円増額。

設置場所は、鷹ノ巣地区です。

商工労働費

●観光施設の修繕料として150万円増額。

わかぶなスキー場内にある老朽化した建物、ウツデーの修繕料です。今後は、スキー教室生徒の休憩場として使用します。

●わかぶなスキー場リフト改修工事請負費として730万円増額。

社会教育費

●村民会館等施設管理費に54万円増額。

役場前にある郷倉内の道具や資材を移動する費用です。今後の使い道については、現在決まっています。

条例の改正

地方税の引き下げによる条例の一部改正となります。

●入湯税条例の一部を改正する条例

●督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例

●介護保険条例の一部を改正する条例

●後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

第5回 9月定例会 9月10日～20日

平成25年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算3件、24年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告、各会計、事業会計の決算認定がありました。

審議の結果、補正予算を含む全議案は、賛成多数にて原案のとおり可決しました。

平成24年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

監査委員より健全化判断比率及び資金不足比率について意見書を付けての報告があり、項目すべて国が示した早期健全化基準を下回りました。また、是正改善を指摘すべき事項もありませんでした。

平成24年度決算認定について

各会計及び事業会計は、決算特別委員会を設置し、各部会へ付託後、審議され定例会最終日に承認されました。



決算審査特別委員会・常任委員会について

Q. 下越清掃センター組合 解散後の対応は？

A. 平成28年度に起債償還が完了した後、2年以内に施設は廃止することになっていきます。その後は村上市に委託する方向で協議を進めています。

Q. 橋りょう検査の結果は？

A. 村道には195の橋があり村内すべての橋りょう検査を実施しています。一カ所大変危険な箇所があったため通行止めをしています。また、修繕が必要な箇所については順次修繕していきま

Q. 宅地造成の計画は？

A. メゾン下関の入居可能年齢が45歳までであり、その後、他の市町村への

転出が懸念されるため公営住宅、宅地分譲、空き家の斡旋なども含め、永住してもらえよう対応を考えています。

請願

・新聞の軽減税率に関する請願

陳情

・森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための陳情

発議案

道州制導入に断固反対する意見書の提出について

採択された、請願・陳情・発議案4件の意見書を関係機関に提出いたします。

構成メンバーが 変わりました

産業建設常任委員

- 委員長 平田 広
- 副委員長 菅原 修
- 佐藤 友之
- 古川 芳房
- 渡辺 秀雄

総務厚生常任委員

- 委員長 津野 庄衛
- 副委員長 須貝 謙一
- 渡辺 健作
- 伝 信男
- 平田ゆかり
- 近 良平

議会運営委員

- 委員長 伝 信男
- 副委員長 古川 芳房
- 渡辺 健作
- 平田 広
- 津野 庄衛

木質バイオマス発電所建設始動 (株)パワープラント関川への支援決定!

質疑・採決 第4回臨時会

8月8日(木)

(株)パワープラント関川に対する5000万円の借入の為の債務負担と、
村が行う貸付金3000万円について

議員 今後、どれだけの金額を村が出資するのか?

村長 新会社が発足して、まだプラントは動いておりません。そのような中で集まってくる材の支払い、当初の運営資金、このようなものが考えられます。具体的には、数字は出していませんが今後ともそれをお願いしなければなりません。そのお金は、新会社が運転して、操業しましたら返して頂く手はずを考えています。

議員 貸付金3000万円の使い道は?

総務課長 概要設計の金額が概ね2500万円。パワープラント関川の臨時職員の賃金などに500万円です。

議員 設立に至っていない会社
社に3000万円の補正をするのはおかしいのでは?

総務課長 村長の印鑑を押印して、司法書士に書類を

提出すれば、益前には、設立する段取りになっていきます。設立時点で貸付の契約をします。

議員 設計委託の作業は、パイロライザー・ジャパソ社か?

村長 パイロライザー・ジャパソ社です。

議員 事業の失敗により、貸付期間内に返済できない場合と、事業に至らなかった場合には、村の借金となるのか?

村長 今回の議題がそういう事ですので、村が損失補償する形になります。

議員 パワープラント関川は数社で設立予定だったが、一社手を引いたと聞いた。この事業について、見込みがないから手を引いたということか?

総務課長 一社手を引いたのではなく、一社抜けても

らったということです。

議員 タイムスケジュール表や、各金額が記載されている事業資料の提出は?

村長 事業は急務を要する状況のため、ご理解を頂きたい。

討論

■ 反対意見

価格決定の合意に至っていない事に加え、50km圏内の未利用材で収支が合うとされる事業に対して、250km以上ある県下から木材を集めて収支が黒字になるのか示されていないことから反対します。
(佐藤友之議員)

■ 賛成意見なし

議員 パワープラント関川の当初のスタッフは?
総務課長 臨時職員2〜3名を考えています。

採決

賛成6名 反対5名により原案どおり可決されました。(議長は採決に加わる事ができません)

賛成

- 菅原 修議員
- 平田 広議員
- 古川 芳房議員
- 須貝 謙一議員
- 渡辺 秀雄議員
- 近 良平議員

反対

- 佐藤 友之議員
- 伝 信男議員
- 平田ゆかり議員
- 津野 庄衛議員
- 渡辺 健作議員

一般質問



渡辺 秀雄
議員

集中豪雨の防災（減災）対策に田んぼの活用を

村内の田んぼは平たん地が少なくて難しい

議員 地球温暖化の影響で、近年は異常気象が多く、各地で頻繁に自然災害が発生し、甚大な被害が起きている。

特に記録的大雨、今までに経験したことのない豪雨が、全国を相次いで襲っている。

人間の力で自然災害をゼロに抑えることはできないが、想定外でも事前の対応で被害を軽減することは可能である。

当村は水田の占める割合がかなり多いので、雨を水田に一時的にためる田んぼダムを作ったら被害を減らす効果があると思う。そこで次の4点について伺う。

- (1) 田んぼダム事業の現況は、
- (2) 田んぼダム事業を実施している県内の市町村は、
- (3) 田んぼダム事業の補助金は、
- (4) 田んぼダム事業の計画は、

村長

(1) 閔川村では田んぼダムへの取り組みはしていません。

(2) 平成14年度に旧神林村で、全国に先駆けて始まったと記録されています。平成24年度で11市村の56地域、9,539 haで取り組んでいます。

近隣では村上市の荒川沿岸土地改良区ほか、新発田市、新潟市などが含まれます。

(3) 市町村に対する国や県からの支援補助金はありま

せん。

(4) 村内の田んぼは平たんなところが少なく、田んぼダムの適地がないのと、排水口の管理作業も大変なので、今のところ策定する予定はありません。

議員

確かに平たん地は少ないが被害を減らすためには、まずは取り組む姿勢が一番大事なことだと思う。

排水口の調整管についても、ある市では調節作業が不要な新型調整管を設置して、洪水被害を減らす方策を取っているが、村でも参考にするべきだと考えるが。

村長

この提案については、いろいろ研究させていただきます。

予防接種の助成金について 来年度から実現を目指す

議員

当村では各種予防接種等、医療、福祉関係にきめ細かい助成金の対応をしているが、肺炎球菌予防接種についての助成は、0歳から5歳までの幼児のみでそれ以上はない。肺炎は日本人の死亡原因の3位で、特に高齢者の重篤化が問題になっている。

予防対策は医療費の抑制にもつながるので、早期に高齢者への助成金を検討して欲しい。

村長

高齢者が肺炎などで亡くなるケースは最近たくさんあることも承知しています。

肺炎の予防接種には一人あたり8,000円ほどか

かります。

提案をいただいたように、予防効果が大きいことから、今後、対象者や助成額などの検討をして、来年度からの実現に向けて努力したいと考えています。

議員

来年度から早速取り組む方向での答弁を貰ったが、対象年齢も後期高齢者は勿論、もう少し若い年齢から対象にしたらどうか。

村長

まだ年齢の区分までは検討していませんが、5年間効き目があることを基準に考えていきます。

質 問



信男 議員 伝

村民の声や考えを聞くことも事業を進めて行くうえで必要だが
時期になりましたら村民にも詳しくお話ししなければならぬと考えています。

議員 木質バイオマ

ス発電所建設事業の
計画から一年になろ
うとしている。去る
8月8日の説明で、

建設費の投資先が見
つからず、今後は政
策金融公庫からの融
資を受ける準備に入
るとの説明があった。

村長は、いかなるこ
とがあってもこの事
業はやり遂げなけれ
ばならないと断言し
た。そこで次のこと
を伺う。

(1) 政策金融公庫から
の融資は100
%可能か。

(2) パワープラント関
川は今後どの様
な体制でどんな
作業をしていく
のか。

(3) いつ頃の営業開始

を指すのか。

(4) 村民との意見交換はするの
か。

村長

(1) 政策金融公庫の条件に合う
ように資料などを準備して
います。なお融資を受ける
のは運営会社ですが、村も
何らかの関わりは出てくる
ものと思われま。

(2) 実際に施設を建設し運営し
ていくのはパワープラント
関川となり、村はこの会社
に出資する立場です。会社
の体制は、融資先が決まり
本格的な活動が始まれば順
次、体制を整えていくもの
と考えています。

(3) できるだけ早い時期に建設
に着手したいと思えますが、
資金確保が確実にならない
と進めることはできません。
しかしながら、来年末まで
には運転を開始したいとい

う希望を持っています。

(4) 「広報せきかわ6月号」で
骨子を掲載しています。現
在もその内容からあまり進
展していませんので条件が
整ったときに開催するの
かどうかも含めて検討したい
と考えています。

議員 村長は、政策金融公庫
からの融資を受ける手続きを
しているとの事だが、今後、
村は資金を出すだけで何も関
わらないのかどうか、再度伺
う。

村長 融資を受けるのはパワ
ープラント関川ですが、株式
によりそれぞれ責任があるう
かと考えています。

議員 村民の中には、バイオ
マス発電所建設に興味を持っ
ている人が大勢いる。このよ
うな大事業であれば多くの
人

の声や考えを聞くことも事業
を進めていくうえで必要だと
思う。特に材について心配し
ている人が大勢いる。ぜひ一
生懸命に村のことを思ってい
る村民のことも考えて、この
事業を進めて頂きたい。

村長 時期になりましたら村
民に詳しくお話ししなければ
ならないと考えています。

議員 大手商社が進めてい
る太陽光発電所の建設はど
うなっているのか伺う。

村長 大手商社では実現に
向けて努力しており、工事
業者数社から見積もり競争
をさせているようです。
条件を整えて会社幹部の

承諾を得る努力をし、来年
の連休明け頃に工事に着手
したいとの報告を頂きました。

議員 前向きに取り組んで
いるとの事で今後も実現に
向けて、村は努力して頂き
たい。

村長 前向きに取り組んで
いるとの事で今後も実現に
向けて、村は努力して頂き
たい。

議員 前向きに取り組んで
いるとの事で今後も実現に
向けて、村は努力して頂き
たい。

太陽光発電所の建設について 前向きに取り組んでいる

議員 大手商社が進めてい
る太陽光発電所の建設はど
うなっているのか伺う。

村長 大手商社では実現に
向けて努力しており、工事
業者数社から見積もり競争
をさせているようです。
条件を整えて会社幹部の

承諾を得る努力をし、来年
の連休明け頃に工事に着手
したいとの報告を頂きました。

村民には、本当の内容が伝
わっていない部分もあります。
この点については、大事なこ
とですので十分対処したいと
考えています。

材については、県の森林組
合連合会から5年間の供給は
約束できる、そのような状況
です。

議員 前向きに取り組んで
いるとの事で今後も実現に
向けて、村は努力して頂き
たい。

村長 前向きに取り組んで
いるとの事で今後も実現に
向けて、村は努力して頂き
たい。

般



平田ゆかり 議員

介護保険制度改正後の要支援者へのサービスは 制度がどのように変わるのか十分承知した上で検討

議員 厚生労働省

は、要支援1・要支援2と認定された人向けの介護予防サービスを介護保険制度からはずし、サービス提供者を市町村に移行する方針を固めている。

メニューを自治

体ごとに決められるようになれば、財政力の違いで内容に格差が生じ、現状のサービスを提供できない自治体も出てくると思われる。

高齢化が進む関

川村の住民一人一人の幸福のために、ひっ迫する財政のために、要支援者の介護と予防の

本来の目的を見失わず、自治体の責務を果たしていただくべく、次の4点について伺う。

(1)要支援を介護保険制度から切り離す事をどのように感じるか。

(2)要支援者にとって、効果的な予防サービス、必要な介護サービス。その結果。

(3)要支援者へのサービスが介護保険適用外となった場合、サービス提供は存廃縮小も含めてどのような変わるのか、又、その財源は。

(4)制度改正後、サービスや利用者が減少することになれば、事業所の経営が困難になり、介護を生業としている人が不利益をこうむることになりかねない、見解と対策は。

村長

市町村が実施地域支援事業に3年かけて移管する内容だと承っています。

(1)制度の改正はやむを得ないとは思いますが、市町村へ移管した場合の財源の手当ては国の責任できちんと措置して欲しいと思います。

(2)要介護者へのサービスの効果は、要介護への移行をできるだけおくれさせるなどの効果があり、大変重要であると考えます。

(3)介護保険制度がどのように変わるのか、十分承知した上で、今後検討いたします。財源は、これまでのような国の財政支援があるのかどうか、非常に不透明であると考えています。

(4)介護事業で働く皆さんの低賃金の改善とはまた別の問題ですので、違う場

面での対応をしなければならぬと考えています。

議員

来年、第6期の介護保険計画の策定が始まるので、要支援者への対応は今のうちに考えておかなければならない問題である。地域支援事業と要支援者への対応を一緒にはできないと思うが。

村長

国のやり方を歓迎しているわけではありません。制度改正をやってもらっては困るとの意思表示をしなければなりません。

議員

地域包括支援センターは、介護保険手続きの他に、当事者や家族が様々な悩み事を相談したり、地域で高齢者の見守りをしていく民生委員さんらも相談や

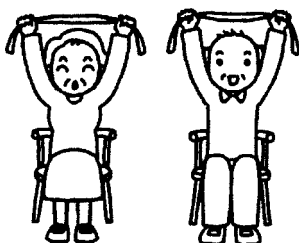
報告等に訪れる大変重要な場所になっている。誰もが気軽に利用できるおかげで、高齢者を重大な事故から防ぐことができている。今後の体制について伺いたい。

村長

サービスをおとさないように、人員的にも考えていきます。

議員

関川村ならではの体制をしっかりと確立していただきたい。



質 問



津野 庄衛 議員

住民の意見、提案の募集について

村民の集う機会に積極的に参加して

意見や提案を聞いて村政に反映させたい

小中学校の週六日制復活でゆとりある教育を

村独自に行うとしても教職員の体制や

保護者の理解や財政的な問題もあり難しい

議員 村の行政全般について、住民の意見や提案を募集してはどうか。

議員は常に住民の意思を把握し、尊重するよう努めなければならぬが、それは容易なことではない。

また、住民も行政に対し、意見をもっても執行機関に対して、もの申すことは至難のことだと思ふ。

そこで、広報誌に、料金受取人払いのハガキを印刷し、村民から意見やアイデアを寄せてもらい、村政に反映させたら如何か。村長の所信を伺う。

村長

住民の意見を行政に反映させることは重要なことです。以前にハガキによる意見や提案を募集しましたが応募がありませんでした。

そこで、住民の意識調査を実施して広報に掲載しました。

グラウンドの整備を 学校関係者とも話し合い対策を考えたい

議員 グラウンドは、本能的には体育の授業で使うべきものであるが、子どもたちが自由時間に遊ぶ場所でもある。

砂の飛散防止と安全面から、トラック以外に芝生を年次計画で植えることはできないか。

中学校ではトラックと外回り部分の排水と整備が必要と思うが所信を伺う。

村長 グラウンドの砂の飛

した。また、キラリと光る地域活性化事業で提案を受けられるも住民の意見を取り入れる手段です。

なお、住民の集う機会に積極的に参加して意見や提案を聞いて村政に反映させたいと思っています。

散防止には一応対策をしましたがが完全とは言えません。

中学校のグラウンドの水はけと大雨のときの排水の問題につきましては学校関係者とも話し合い対策を考えたいと思っています。

議員

小学校のグラウンドは基準の面積を大幅に上回っている。子どもたちの遊び場としても芝生が必要と思われる。



芝生のグラウンドで遊ぶ旧関小の子どもたち (H12.4)

議員

大人社会の「週休二日制」に伴い「学校五日制」が実施された。学校は、明治以来六日制で土曜日も授業があった。現在は授業無しで年間授業時数が減り、授業内容も変わってきている。

現在、土曜授業が見直さ

れている。報道機関によれば、十二都道府県で月二回程度実施している。

文部省でも来年度推進する予定だ。

実施には、教師の負担等いろいろな課題がある。

これからの社会を生き抜く子どもたちのためにも真剣に考える時期に来ていると思うが所信を伺う。

教育長

学校教育法で土曜日は休日定められています。村独自に行うとしても教職員の体制や保護者の理解や財政的な問題もあり難しいと考えます。

議員

本村小中学校の全国学力テストの結果を伺う。(県・全国平均正当率との比較)

教育長

具体的な数字は公表できません。小中学校とも悪い成績ではなく、県内で中程度の成績でした。

般



渡辺 健作 議員

第5次関川村総合計画の進捗状況は

ほぼ順調に推移している

議員 第5次関川村総合計画「後期計画」は、平成23年度から27年度までの5カ年計画であり、第1部計画

総論、第2部基本構想、第3部基本計画の3部門になっている。今年度は、中間年度に当たるので、基本計画について進捗状況を次の5点について伺う。

- (1) 資源の活用の中から、新エネルギーの導入促進
- (2) 交通・通信体系の中から、村道の整備促進
- (3) 防災・交通安全、自然災害予防

(4) 村と村民の協働の中から、コミュニティ組織の支援

(5) 若者定着・交流居住の中から、リーダーの育成及び配偶者対策の施策推進

村長

基本計画は基本構想を踏まえて村長が具体的に定めているものであります。進捗状況は

- (1) 木質発電事業と太陽光発電事業の導入を進めており、基本計画の内容より踏み込んだ取り組みとなっております。
- (2) 村内の村道は831路線340キロの長さとなっており、重点として、老朽化した消雪パイプと関連施設の更新と、除雪体制の整備にも力点を置いており、ほぼ計画どおり進めています。
- (3) 防災は重点の課題でもあり、特に集落単位の自主

防災組織の結成は、人口の80%となっており、来年度には全村一斉の総合防災訓練を計画しています。

(4) 小学校の統合により地域の連帯意識が薄れるのをとめるためにも、コミュニティ組織の活性化は重要なテーマであり、いろいろな支援については、おおむね計画に掲げた内容で進められてきています。

- (5) 今年で3年目になる関川ゼミナールや、コミュニティのリーダーの皆さんを中心に、まつりサミットの運営をお願いしています。配偶者対策は、決め手がなく難題であります。村内の様々な動きを支援したり、イベントや講座など出合いの機会づくりをお願いしています。

議員

(1)の中で、新エネルギー研究会はどうなったのか。(3)気象庁が新しく設けた特別警報について村としての対応は。(5)配偶者対策を村として積極的にやる考えはないのか。

村長

新エネルギー研究会は、雪、風、太陽、水を一まとめた研究会でしたが、既に終わっています。特別警報については、変わるたびに防災担当で対処しています。

配偶者対策については、行政が主導的にやると人が集まらないという経緯があったので、民間の自由な発想でやってもらい、財政的に幾らか援助をしています。

議員

基本計画全般については、ほぼ順調に推移しているということだが、5カ

村長

年計画が終了した時点で、ほぼ完璧な状態で計画が施行されるのか、またその自信は。

完璧に100%になるかは、国や県の財政を期待しているので予測はできませんが、目標は100%です。計画が実現したかどうかというのは、検証が必要で

す。関川村総合振興審議会の委員40人の方にも、検証をしてもらう予定です。

前回の一般質問で、民生委員の方に誤解を招きましたが、質問の趣旨は、民生委員の選出方法についてであり、批判したものではありませんので、お詫び申し上げます。

一 般 質 問



須貝 謙一 議員

介護保険料をもっと細かく分割しては 第6期時に検討を

議員 平成24年度

に見直された介護保険料。一時は全国一高い保険料と報道された。また27年度に見直しされるわけだ。そこで次のことについて伺う。

現在村では6段階に分割しているが、平成25年7月1日現在の平均が第4段階で年額8万1600円で112人。平均より少なく納めている人は4万8000円で358人、その次6万1200円が343人、また平均より多く納めている人10万2000円が391人、最高額の12万2400円が

102人いる。

ただ、平均より多いといっても前年度の所得額が190万円未満ということ、仮に1万円でも189万円でも納める額は同額だ。190万円以上の場合、190万円でも900万円でも同額に納めているわけだ。少なく納めている人も同様であると思われる。

そこで、私の提案はもっと細かく分割して、できれば6段階から少なく納めている人を1つ、多く納めている人を2つ増やして9段階にしてはどうか。村長のお考えを伺う。

村長 第5期の基準となり

ます介護保険料が全国一ということですが、平成27年度からは第6期となりまして、その前に見直し作業

が行われます。

おかげさまでその後は介護給付費の急激な増加は見られませんが、このままいけば第5期のようにはないものと思っております。

議員のご提案は、介護保険料の段階区分を現在の6段階から9段階に区分を増やすというものであります。これにつきまして9段階

にした場合のシミュレーションをしてみました。現在の基準金額をベースにいたしますと、総額で500万円余り少なくなります。全体に介護保険料を増額しないとその分の必要額が確保できないということがわかります。

その要因は各段階でその該当者にばらつきがあるためです。半分以上が該当する中間層が2つに分れることによるものです。

現在は国の基準を採用して

きましたが、第6期を検討する際に議員の提案の件も含めまして検討していきたいと思っております。これからも細かいシミュレーションをやってみなければならぬと考えています。ご提案いただきありがとうございます。

介護保険料は年間約10億円が

予算化されている。集める金が1億7555万円位しか集まっていない。

あとは全て交付税や補助金などで補っているかと思う。今村長のほうからお話があったようによく検討してもらいたい、いい案を出していただきたい。

議員 確かに実際に今の介



先進地視察研修報告

平成25年7月24日

総務厚生常任委員会・産業建設常任委員会

～ 埼玉県秩父市の木質バイオマス発電事業の取り組みについて ～

(1) 秩父市の概要

秩父市は、平成17年4月1日に4市町村の合併により誕生した。(秩父市、吉田町、大滝村、荒川村)面積は578km²、埼玉県全体の15%に相当し、87%は森林に覆われている。

(2) 事業のねらい

- ① 荒廃が危惧される森林の再生、森林が担う公益的機能の回復。
- ② 資源環境型社会の構築。
- ③ 新規産業と雇用の創出による地域の活性化。
- ④ 地球温暖化など地球環境問題への対応、環境学習の推進。

(3) 発電所の特徴

この発電所は、木質チップが燃料でチップを蒸し焼き(ガス化)することで、可燃性ガスを発生させる。可燃性ガス(二酸化炭素・水素・メタン等)は、ガスクリーナー

で取り除き大型のガスエンジンへ供給し発電事業を行っている。

(4) 取り組み状況

秩父バイオマス元気村発電所は、林野庁から1億1550万円の交付金を受け、秩父市が総経費2億5000万円(115kW/時)をかけて、平成19年4月に完成した。

熟する過程で発生する一酸化炭素や水素ガスは、発電モーターを回すエンジンの燃料となり、電力は発電所に隣接する観光施設「吉田元気村」に供給される。発電の際に出る熱は、元気村の風呂や足湯の給湯に利用され、炭化したチップは畑などの土壌改善に使われている。

また、平成10年に導入した30kWの太陽光発電があり、太陽光と木質バイオマスの2つの再生可能エネルギーを利用している。さらに、平成19年度には、使用済み天ぷら油からバイ

(5) まとめ

日本は、エネルギー資源

オディーゼル燃料(自動車用燃料)を精製する製造装置を作り、資源の有効利用の取組みに学校と家庭を巻き込んで進めている。現在までに約3万30000の廃油を回収し、約2万9000の自動車燃料を市の7台の公用車に供給し、全体で約14万8000km走行した。これにより約55トンの二酸化炭素排出を削減した。

に乏しい国で、その大半を輸入する石油に依存しており、エネルギーを安定的に確保することが大きな課題になっている。石油資源の枯渇が議論され、生産量の頭打ち・価格の高騰が現実のものになってきている。日、石油への依存度を下げ、エネルギーの自給率を上げるためにも、また環境問題、特に地球温暖化の防止策においても、吉田元気村の取り組みは当村もおおいに参考にすべきだと考える。



村民の声



新規就農者の ユリ栽培

… “シベリア” にドッキリ …

たか はし きょう こ
高橋京子さん
(湯 沢)

関川村の村花は、ゆり“
でしたね。山ユリでしょう
か。偶然にも、50歳を超えて
のUターン新規就農のオバ
ちゃん挑んだのはユリ栽
培でした。生活を支える為
の就農です。人生後半をも
本気モードで活きたいが為
の選択でした。

あれから13年の奮闘を経
て今日に至りますが、実感
は『多くの人に助けて頂い
たなあ』。故郷の人々は親
切でした。

さて、私の栽培するユリ
“シベリア”は実は山ユリ
など数種類の日本固有のユ
リが海外で交配されて生ま
れたオリエンタルユリの一
つです。次々と新品種が発
表される中であって、“シベ
リア”は真っ白・花もち、
扱い勝手、花姿の良さなど
で定番業務用高級ユリとし
て愛用され、経営採算面でも
安定している。勿論、品
質が伴う場合だ。加えて日
本の山野がこの麗わしのシ
ベリアの源と知るにつけ、
当該単一種の栽培に入れ込
んでいく。

新潟県は、オリエンタル
ユリの全国有数の産地の一
つです。春から夏は下越地
域を中心に、真夏の8月か
らは山間地、初秋からは下
越地域と出荷が移り変わる。
私の出荷は8・9月。山
間地の低夜温の恵みが、遮
光ネットのみの簡易パイプ
ハウス露地栽培を可能にし
てくれるからです。平場の
大規模施設栽培者が、暑さ
の為に避けざるを得ない間
のいわばゲリラ出荷のよう
なものです。今年も間もな
く出荷の終盤を迎えます。

梅雨時の球根定植・猛暑
のなかの毎日の収穫と出荷。
近隣の農業ベテランのオッ
チャン・オツカチャンに支
えられています。労を惜し
まぬ頼もしい働き者は、も
う稀にしか出会えなくなっ
ていくのでしょうか。それ
でも新規就農13年生は、20年
生までも挑みたい！

編集後記

「議会だより」の編集委員が変まりました。

これからも、住民の皆さんに親しまれる広報を目指して、

- ・スピーディーな発行
- ・わかりやすい紙面
- ・公平・真実な内容をモットーに、研鑽を重ねてまいりたいと思います。

広報対策

特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 平田ゆかり |
| 副委員長 | 佐藤 友之 |
| | 津野 庄衛 |
| | 渡辺 秀雄 |
| | 須貝 謙一 |
| | 平田 広 |

